

図書委員会による集会の企画と発表

荒川区立尾久第六小学校図書館 編



	実践事例
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校全学年・図書委員(5年生・6年生)・
2	実施時期 : 平成23年10月～11月
3	概要 : 全校児童にむけて、学校図書館や資料の紹介をして、活用を促す集会を開催。 図書委員会児童が主体となり、取り組むことを意識して実施。
4	内容 《集会概要》「秋の読書集会」 11月17日(木) 8時30～8時45分 - 本の紹介…委員会の児童がみんなに読んで欲しい本を紹介。 普段手にしない本を中心に選出 - 図書室の利用について…「本の取り方」「リクエスト・予約のやり方」「学校図書館指導員(学校司書)の紹介」などをクイズ形式で出題 《経緯》 ① 9月 集会の企画 11月に図書委員会が中心となり、集会を開くことを伝える。 ② 10・11月 集会準備 発表に向けて準備をするなか、集会発表までをどのように進めていくのかイメージがつかない児童もいた。 集会当日は委員会児童全員が発言できるようにセリフを配分し、紙を見ないで、自分の言葉として言えるように、練習をした。また、実験の本を紹介する児童たちのグループは実験の本に出ている工作を作り、試せるようにした。 ③ 11月 図書集会の実施 ④ 12月 その後の活動へ 担任が集会での発表だけでなく、事前の企画や発表方法に工夫ができたのでは？と感想を委員会で伝えたところ、6年生の児童が本の紹介や情報提供をするポスターをコンピュータで作成していた。 (捕足) 本校では情報教育の一環として総合的に学習の時間の成果をパソコンでまとめる経験をしており、6年生はその経験をいかし、昼休みを活用し、各自でポスターを作成した。
5	参加者の反応【教師の感想】 発表を全員で行ったことで実施後では、図書委員の自覚が強まった。委員会の児童は緊張した子もいたようだが、大舞台での集会の成功について達成感が得られたとの声が多かった。集会に参加した児童も同級生からの紹介にとっても興味をもてた様子だった。
6	連携した諸機関 荒川区教育委員会学校図書館支援室

